

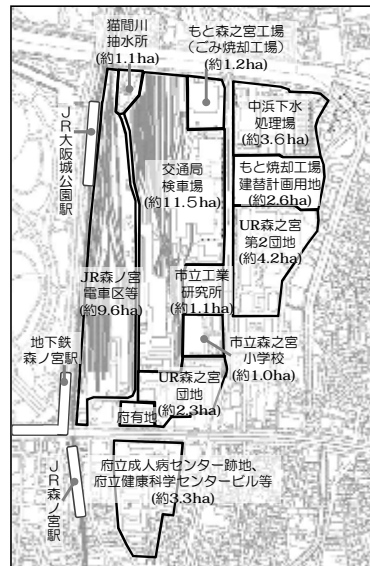
「大阪城東部地区」のまちづくりの方向性（素案） <概要>

地区の位置づけとポテンシャル

- ・ランドデザイン・大阪（H24府市にて策定）では「大阪城・周辺エリア」として象徴的なエリアの一つに位置づけ。
- ・良好な交通至便性および、大阪城公園と一体となった大阪を代表する国際的観光地となり得るポテンシャルを有す。
- ・大阪城公園周辺地区（大阪城公園、大阪ビジネスパーク、京橋駅等）との回遊性向上、大阪城公園の豊かな緑と一体となった整備により、エリア全体での活性化が可能。
- ・大阪府市医療戦略会議の提言（H26.1）で「スマートエイジング・シティ」のポテンシャルがある地区とされる。

地区の現況と課題

- ・もと森之宮工場、もと焼却工場建替計画用地、鉄道施設等の存在により、高度な都市的土地利用がされておらず、地区ポテンシャルが活かされていない。
- ・大阪城方面へのアクセスや、区内の少子高齢化、生活利便系の施設不足といった課題。
- ・府立成人病センター跡地等で、「多世代が交流する、学びと健康とにぎわいのまち」をコンセプトにした「まちづくり方針」を策定。



大阪城東部地区（現況図）

まちづくりの方向性

基本的な考え方

大規模な用地の整備と既存機能の活用、高度化によるまちづくりを進める。

まちづくりのコンセプト

観光・集客・健康医療・人材育成・居住機能の集積により
多世代・多様な人が集い、交流をはぐくむまち

まちづくりの目標

大阪の新しい観光集客エリア／「多世代の生きがい」を生み出すまち
多様な人々が健康で安心して暮らせるまち／エリア全体でにぎわいを創出
都心において豊富な緑に包まれたまち

都市機能の構成イメージ



将来像（イメージ）

◎ 中核エリアへの導入機能

- 観光・集客機能
 - ・大阪城公園に隣接する「城下町」としての観光集客機能
 - ・海外からの観光客急増に対応した飲食・物販施設
 - ・大阪城公園に隣接する好立地を活かした宿泊滞在施設
 - ・大阪城公園周辺施設と連携したMICE施設
- 高等教育・研究、健康医療等産業機能
 - ・地区のポテンシャルを活かした新機能
 - ・高等教育・研究機能
 - ・健康・医療・介護分野の産業・研究機能
 - ・地域文化交流機能
 - ・商業・サービス機能

- ・様々な人が訪れ地域のにぎわいをもたらす。
- ・周辺エリアに住む人々の生きがいをつみ出す。



◎ 周辺エリアへの導入機能

- 多世代居住機能
 - ・多世代・多様な世帯が安心して健康的に暮らせる居住環境を実現
 - ・若年層や子育て世帯を増加させるとともに、多世代が交流し健康を増進させる取組みを進める。
 - ・「健康・医療等」をテーマに高等教育・研究、健康医療等産業と連携しながら、安心して、芸術・文化活動やスポーツ活動などを通じ健康を増進させ、「生きがい」をもって暮らせる居住環境の実現をめざす。
- i) UR団地
 - ・若年層や子育て層に向けたリノベーションを実施。
 - ・高齢者にも優しい居住環境の整備。 など
- ii) もと焼却工場建替計画用地
 - ・若年層や子育て世帯などのニーズに対応した住宅の整備や子育て支援機能。
 - ・生鮮食料品等を扱う生活利便施設や医療機関等。 など
- iii) 府立成人病センター跡地等
 - ・高齢者世帯や子育て世帯など、多様な都心居住のニーズに応える居住機能や子育て支援機能。
 - ・多様な世代の交流を促し、健康を増進させ、生きがいづくりを支援する地域文化交流機能。 など



- 広場機能
 - ・将来の中浜下水処理場の建替えにあわせて、その上部を覆蓋（ふくがい）し、地域の憩いの場となる公園、緑地等の緑豊かな広場空間の整備を図る。

○機能をハード的に支える「導入インフラ」の方向性

- ・回遊デッキ
- ・シンボルアベニュー
- ・河川沿いのプロムナード



○将来像を持続的に実現する「しきみ」の方向性

- ・まちの価値を高めつづけるエリアマネジメント
- ・環境配慮型都市の実現
- ・コミュニティの形成

・なお、この方向性は社会経済情勢にあわせて、段階的にバージョンアップさせる。



※1 交通局検車場（車庫等）の地区外移転が可能となった場合を前提として、その長期的な跡地利用を記載している。
 ※2 「府立成人病センター跡地等のまちづくり方針」（平成26年12月）を踏まえた土地活用を行う。